

(6)基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-1) 児童虐待防止対策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	養育支援訪問事業	拡充		A	「こんにちは赤ちゃん事業」や関係機関等からの情報収集等により把握した養育支援が必要であると認めた家庭に対し、育児・家事の援助又は育児支援に関する技術的援助を専門の相談員等が訪問により実施する。	H22 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 10件 延べ訪問件数 23件 H23 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 12件 延べ訪問件数 17件	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	子育て支援課			
2	家庭児童相談	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,150件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件	H22 A 4,961 4,948 H23 A 7,307 7,330 H24 9,687 H25 H26 計 21,955 12,278	子育て支援課			
3	要保護児童対策地域協議会	拡充		A	要保護児童の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回	H22 代表者会議 1回 実務者会議 9回 H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回	H22 A 570 449 H23 A 670 403 H24 631 H25 H26 計 1,871 852	子育て支援課			
4	ふれあい親子支援事業	継続		A	コアラの会(育児不安が強く、支援が必要な保護者のグループミーティング)を開催し、育児不安の解消に努めた。	コアラの会 H22: 12回 延53組 H23: 12回 延55組	H22 A 288 288 H23 A 288 286 H24 290 H25 H26 計 866 574	健康づくり支援課			
5	保健師による訪問指導	拡充		A	児童虐待予防のため、訪問による支援が必要な母子に対し、保健婦等による訪問指導を実施した。また、要支援者への関わり学びを深めるため、講師を招いての事例検討会を実施した。	延訪問件数 H22:435件 H23:586件	H22 A 60 60 H23 A 60 60 H24 60 H25 H26 計 180 120	健康づくり支援課			
6	こんにちは赤ちゃん事業	新規	訪問率(産婦・新生児訪問指導を含む)100%	A	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援と情報提供を行った。	H22:2,395件訪問 82.6% H23:2,429件訪問 84.7%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 10,821 H25 H26 計 32,753 19,758	健康づくり支援課			

7	周産期からの虐待予防強化事業	新規		A	高度専門医療機関と連携し、周産期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、訪問等を行い支援し、早期に育児不安の解消を図った。	情報提供件数 H22:67件 H23:72件	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	健康づくり支援課
---	----------------	----	--	---	--	------------------------------	--	----------

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	ひとり親家庭相談	拡充		A	母子自立支援員がひとり親家庭の親などの様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 母子家庭相談 7,067件 父子家庭相談 121件	H22 母子家庭相談 6,075件 父子家庭相談 53件 H23 母子家庭相談 7,067件 父子家庭相談 121件	H22 A 6,894 6,894 H23 A 6,872 6,852 H24 — — H25 — — H26 — — 計 20,639 13,746	子育て支援課			
2	母子家庭等日常生活支援事業	拡充		A	母子家庭の母が出産に伴い、一時的に生活困難になった家庭に対して、支援員を派遣した。 派遣世帯 7世帯(延べ73時間)	H22 派遣世帯 1世帯(延べ7時間) H23 派遣世帯 7世帯(延べ73時間)	H22 A 125 11 H23 A 92 112 H24 — 92 H25 — — H26 — — 計 309 123	子育て支援課			
3	母子寡婦福祉資金	継続		A	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の推進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 母子 165件 83,251,000円 寡婦 2件 1,368,000円 また、貸し付けた資金の償還も行った。	H22 母子 162件 82,961,500円 寡婦 1件 636,000円 H23 母子 165件 83,251,000円 寡婦 2件 1,368,000円	H22 A 89,000 83,873 H23 A 84,000 84,820 H24 — 100,400 H25 — — H26 — — 計 273,400 168,693	子育て支援課			
4	児童扶養手当	継続		A	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、当該児童を養育している者に児童扶養手当を支給した。 総支給額 1,072,923,661円 受給資格者 2,823人(H23年度末現在)	H22:総支給額 1,013,786,506円 受給資格者 2,683人(年度末) H23:総支給額 1,072,923,661円 受給資格者 2,823人(年度末)	H22 A 1,013,787 1,013,787 H23 A 1,084,969 1,072,924 H24 — 1,124,478 H25 — — H26 — — 計 3,223,234 2,086,711	子育て支援課			
5	川越市遺児手当	継続		A	遺児の健全な育成を図るため、当該遺児の保護者に遺児手当を支給した。 総支給額 2,269,500円 受給資格者 18人(H23年度末現在)	H22:総支給額 2,516,000円 受給資格者 17人(年度末) H23:総支給額 2,269,500円 受給資格者 18人(年度末)	H22 A 2,856 2,516 H23 A 2,856 2,270 H24 — 2,652 H25 — — H26 — — 計 8,364 4,786	子育て支援課			

6	母子生活支援施設	継続		A	母子家庭又はそれに準ずる事情の家庭で、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子ともに入所させ、保護、指導を行うとともに自立を支援した。 また、退所した母子の生活状況の把握と生活安定のための支援に努めた。 32世帯(人数 129人)	入所世帯数 H22 70世帯(人数225人) H23 32世帯(人数129人)	H22 A 7,288 4,947 H23 A 4,045 3,833 H24 4,166 H25 H26 計 15,499 8,780	子育て支援課
7	ひとり親家庭等医療費	継続		A	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給した。 支給件数 24,518件 支給額 62,986,930円	支給件数 H17 15,828件 H18 19,162件 H19 21,649件 H20 23,567件 H21 25,242件 H22 25,077件 H23 24,518件	H22 A 68,151 65,537 H23 A 70,131 63,890 H24 67,095 H25 H26 計 205,377 129,427	医療助成課
8	母子家庭等就業・自立支援センター事業	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 8人 パソコン講座 23人 就労相談 319人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人	H22 A 196 165 H23 A 213 123 H24 140 H25 H26 計 549 288	子育て支援課
9	ひとり親家庭生活支援事業	新規	延べ利用者数 80人/年	A	母子家庭の母などの情報交換の場であるシングルマザー交流会を開催した。 全3回 延べ33人(母子)	H22 4回 延べ65人 H23 3回 延べ33人	H22 A 223 168 H23 A 231 118 H24 167 H25 H26 計 621 286	子育て支援課
10	母子家庭等自立支援給付金事業	新規		A	主体的に資格取得等を目指す母子家庭の母を対象に給付金を支給した。 高等技能訓練促進費 29件(延べ317月) 入学支援修了一時金 7件 自立支援教育訓練給付金 4件	H22 高等技能:20件(延べ236月) 教育訓練:4件 H23 高等技能:29件(延べ317月) 入学支援修了一時金:7件 教育訓練:4件	H22 A 31,191 30,675 H23 A 58,849 41,288 H24 52,108 H25 H26 計 142,148 71,963	子育て支援課
11	母子自立支援プログラム策定事業	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 40件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件	H22 A 1,152 1,136 H23 A 1,152 1,168 H24 1,152 H25 H26 計 3,456 2,304	子育て支援課
12	女性のための相談事業	継続	相談日数 100日/年	A	DV、女性の抱えるさまざまな問題、性別による差別的扱い等に関する相談に対し、問題を解決するための助言、関係機関の紹介等を行った。	H22 カウンセリングルーム 67件 女性相談 256件 H23 カウンセリングルーム 65件 女性相談 341件	H22 A 2,274 2,373 H23 A 2,796 2,658 H24 2,834 H25 H26 計 7,904 5,031	男女共同参画課

13	川越市父子家庭貸付事業	新規	A	父子家庭の父の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の増進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 3件 1,448,000円	H22	2件	222,000円	H22	A	3,035	251	子育て支援課
					H23	3件	1,448,000円	H23	A	3,021	1,454	
					H24			H24		1,813		
					H25			H25				
					H26			H26				
					計			計		7,869	1,705	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-(3) 障害児施策の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	生活サポート事業	継続		A	対象者数 105人	対象者数 平成22年度 104人 平成23年度 105人	H22	A	6,189	6,189	障害者福祉課
H23	A	7,467	6,695								
H24		5,869									
H25											
H26											
計		19,525	12,884								
2	緊急一時保護事業	継続		A	保護件数 160件 実利用人数 31人	H22 保護件数 216件 実利用人数 34人 H23 保護件数 160件 実利用人数 31人	H22	A	-	-	障害者福祉課
H23	A	-	-								
H24		-									
H25											
H26											
計		0	0								
3	障害のある子どもへの補装具等の交付	継続		A	購入 181件 22,349,067円 修理 87件 2,932,628円	H22 購入 212件 23,704,118円 修理 94件 2,067,103円 H23 購入 181件 22,349,067円 修理 87件 2,932,628円	H22	A	30,822	25,771	障害者福祉課
H23	A	23,904	25,282								
H24		26,677									
H25											
H26											
計		81,403	51,053								
4	障害のある子どもへの各種手当の支給	継続		A	重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給した。 14,380円×287人=4,127,060円(延べ人数) 14,330円×1,458人=20,893,140円(延べ人数) ※年度途中で単価の変更あり	H22 14,380円×1,679人=24,144,020円(延べ人数) H23 14,380円×287人=4,127,060円(延べ人数) 14,330円×1,458人=20,893,140円(延べ人数)	H22	A	24,158	24,144	障害者福祉課
				H23	A	25,884	25,020				
H24		25,794									
H25											
H26											
計		75,836	49,164								
4	障害のある子どもへの各種手当の支給	継続		A	児童の心身の健やかな成長に資するため、在宅の障害児を育てている方に特別児童扶養手当を支給した(支給要件有)。 受給者数 407人	H22 受給者数 400人 H23 受給者数 407人	H22	A	82	82	子育て支援課
				H23	A	82	82				
H24		82									
H25											
H26											
計		246	164								

5	障害者相談支援事業	継続		A	相談件数 4,256件	相談件数 H22 5,200件 H23 4,256件	H22 A 58,600 58,600 H23 A 58,840 58,840 H24 58,840 H25 H26 計 176,280 117,440	障害者福祉課
6	紙おむつ給付事業	継続		A	利用人数178人(平成24年3月末) 延べ人数(年間)2,159人	H22 利用人数174人 (平成23年3月末) 延べ人数(年間)2,027人 H23 利用人数178人 (平成24年3月末) 延べ人数(年間)2,159人	H22 A 9,023 9,023 H23 A 9,754 9,487 H24 10,259 H25 H26 計 29,036 18,510	障害者福祉課
7	統合保育事業 (5-(2)-3の再掲)	継続		A	障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	保育課
8	グループ指導会	継続		A	家庭児童相談員が、主に発達につまづきのある3歳児を対象に、将来の集団生活に備えて、小グループにおいてプレイセラピーを中心とした発達支援を行った。 31回 延べ391人	H22 30回 延べ626人 H23 31回 延べ391人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	子育て支援課
9	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,150件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 H26 計 0 0	子育て支援課
10	障害のある子どもに対する教職員研修事業	継続		A	障害のある児童生徒への理解と指導力の向上、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。 特別支援教育コーディネーター養成研修会3回168名参加 就学相談担当者研修会1回 54名参加 発達障害の理解と指導法研修会3回 54名参加 特別支援教育支援員研修会1回 90名 援学級・通級指導教室担当者研修会1回 54名	特別支援 研修の充実により、特別支援教育への理解と指導力の向上が図られた。	H22 A 125 40 H23 A 100 20 H24 80 H25 H26 計 305 60	教育センター (旧 教育研究所)
11	知的障害児通園施設	新規		B	あけぼの児童園において、知的障害のある子供の特性に応じて日常生活及び社会適応のための支援を行った。		H22 B 59,534 56,154 H23 B 59,133 56,853 H24 57,929 H25 H26 計 176,596 113,007	保育課

12	肢体不自由児認可通園施設	拡充		B	ひかり児童園を肢体不自由児認可通園施設として整備するための課題整理を行い、新施設の導入機能および建設場所について検討を行った。		H22 H23 H24 H25 H26 計	B B 42,454 142,211	51,379 48,378 42,454 85,099	42,454 42,645 85,099	保育課
13	特別支援教育支援員(自立支援サポーター)の配置	継続		A	通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター27名を年間80日派遣した。	小学校26校、中学校7校からの要請に対し、33校全てに配置し、個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を通して、小学校・中学校に適切な支援を行うことができた。	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A 11,312 27,774	6,599 9,863 11,312 14,206	5,619 8,587 14,206	教育センター(旧 教育研究所)
14	特別支援教育支援員(臨時指導員)の配置	継続		A	介助等を必要とする児童生徒に対して、小学校17校、中学校7校、市立特別支援学校1校に特別支援教育支援員(臨時指導員)76名を配置した。	要請のあった市立小・中・特別支援学校に対して、ほぼ配置し、児童生徒の学習活動における介助等を実施することで、障害のある児童生徒への教育の充実を図ることができた。	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A 94,959 308,414	109,831 103,624 94,959 179,275	86,951 92,324 179,275	教育センター(旧 教育研究所)
15	ダウン症のある子どもを持つ親の会(1-(1)-22の再掲)	継続		A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22: 9回 57人 H23: 11回 88人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A 0	— — 0	— — 0	健康づくり支援課
16	すくすくクリニック(1-(1)-24の再掲)	継続		A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22: 12回 65人 H23: 11回 40人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A 0	— — 0	— — 0	健康づくり支援課
17	発育・発達クリニック(1-(1)-25の再掲)	拡充		A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。	発育発達クリニック H22: 11回71人 H23: 11回71人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A 0	— — 0	— — 0	健康づくり支援課
18	子どものこころの健康相談(1-(1)-26の再掲)	拡充		A	こころの健康と精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。	子どものこころと健康相談 H22: 12回56人 H23: 11回48人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A 0	— — 0	— — 0	健康づくり支援課

19	自立支援医療(育成医療)給付 (1-(4)-4の再掲)	継続	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:115人 H23:108人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	健康づくり支援課
20	小児慢性特定疾患医療給付 (1-(4)-6の再掲)	継続	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:255人 H23:263人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	健康づくり支援課
21	学童保育事業 (5-(1)-1の再掲)	拡充 学童保育室入室の規定に対して障害児の受け入れは100%入室	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている障害のある児童を、市内32学童保育室で保育した。【54人】 障害児に関わらず、入室の規定に適合していれば100%受け入れている。	年度当初学童保育室に入室する障害のある児童数 平成20年度 64人 平成21年度 48人 平成22年度 50人 平成23年度 54人 平成24年度 51人	H22 A — — H23 A — — H24 — — H25 — — H26 — — 計 0 0	教育財務課

(7)基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(1) 良質な住宅・良好な居住環境の確保

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	地域優良賃貸住宅	継続		D	新規供給計画の申請なし	市認定実績なし 市内特優良戸数(県認定分) 23年度末 120戸 22年度末 131戸 21年度末 159戸 20年度末 161戸 19年度末 165戸	H22	D	2,028	—	建築住宅課
							H23	D	1,014	—	
							H24		—		
							H25				
							H26				
							計		3,042	0	
2	公営住宅における優先入居	継続		A	登録方式による募集に際し、母子世帯、多子世帯を優遇して登録を行った。	H22 【母子世帯の登録数】18世帯 【多子世帯の登録数】3世帯 ※入居は23年度から H23 【母子世帯の登録数】22世帯 【多子世帯の登録数】1世帯 ※入居は24年度から	H22	A	—	—	建築住宅課
							H23	A	—	—	
							H24		—		
							H25				
							H26				
							計		0	0	
3	シックハウス対策	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22	A	—	—	建築指導課
							H23	A	—	—	
							H24		—		
							H25				
							H26				
							計		0	0	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(2) 安全な道路交通環境の整備

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	歩行空間のバリアフリー化	継続	1,960m	A	歩道付道路を1,085m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m	H22	A	—	—	道路建設課
					H23	A	—	—			
					H24		—	—			
H25		—	—								
H26		—	—								
計		0	0								
A	川越駅南大塚線、本川越駅前通線の整備に向けた準備を行った。	A	H22 歩道整備 17m	H22	A	—	—	街路課			
				H23	A	—	—				
				H24		—	—				
H25		—	—								
H26		—	—								
計		0	0								
A	歩道付き道路の整備を434.8m行った。 (内訳150.0m+284.8m)	A	H22 歩道整備 L= 78.6m H23 歩道整備 L=434.8m	H22	A	—	—	道路環境整備課			
				H23	A	—	—				
				H24		—	—				
H25		—	—								
H26		—	—								
計		0	0								
2	屋外広告物の撤去	継続		A	違反広告物の掲出数そのものが年々減少傾向にあり、市民ボランティアの方々による地域に密着した除却活動の成果が着実に現れている。	H22:合計 8,434個(枚) H23:はり紙 2,015枚 はり札 7,392枚 立看板 26個 合計 9,433	H22	A	1,251	962	都市景観課
H23	A	557	557								
H24		673									
H25											
H26											
計		2,481	1,519								
3	生活道路における安全対策	継続	100箇所	A	路面標示等による事故防止対策を実施した。 323箇所(内214箇所は、平成23年度に特別対策地域に指定されて行ったもの)	22年度115箇所 23年度323箇所	H22	A	59,874	54,868	安全安心生活課
H23	A	51,808	48,254								
H24		50,774									
H25											
H26											
計		162,456	103,122								
4	カーブミラーの整備	継続	80基	A	カーブミラーの新設・修繕を行った。 新設 70基 修繕 205基	22年度新設100箇所修繕188基 23年度新設70箇所修繕205基	H22	A	項目3に含まれる		安全安心生活課
H23	A										
H24											
H25											
H26											
計		0	0								

5	交通安全看板	継続	40本	A	警戒標識・注意看板を設置した。 67本	22年度62本	23年度67本	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 0	項目3に含まれる — — — 0	安全安心生活課
6	道路照明灯	継続	3基	A	道路照明灯を新設した。 6基	22年度新設6基	23年度新設6基	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 0	項目3に含まれる — — — 0	安全安心生活課
7	信号機	継続		A	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、信号機設置箇所等について川越警察署と連携を図っている。			H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 0	— — — — — 0	安全安心生活課

【網掛】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(3) 安全・安心なまちづくり

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	安全・安心な都市公園の整備	拡充	改修数 年間20箇所	B	市民サービス向上のため、公園の施設改修や新規整備を実施。 実施公園数11公園 その他 ・砂場の浄化 111公園 ・高木等の剪定 13公園 ・遊具等の保守点検 162公園	H22:延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H23:延べ11公園の整備及び改修・補修を実施	H22 H23 H24 H25 H26 計	B B — — — 292,374	89,474 85,900 117,000 — — 157,724	88,124 69,600 — — — —	公園整備課
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	継続	駅施設のバリアフリー化 100% ノンステップバス導入率 100%	A	東武東上線川越市駅のバリアフリー施設整備(エレベーター、多機能トイレ)を行った。 ※当初、平成22年度完了予定だったが、東日本大震災の影響により事業が23年度に繰越となり、23年4月25日に完了した。 ノンステップバス導入に対して補助を行った。(9台)	市内12駅全てがバリアフリー対応(地平駅含む) ノンステップバス導入率87.4%(平成23年度末現在)	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 184,143	96,897 82,264 4,982 — — 93,352	12,085 81,267 — — — —	都市交通政策課
3	バリアフリー新法に基づく所要の措置	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22 H23 H24 H25 H26 計	A A — — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	建築指導課

4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	1,960m	A	歩道付道路を1,085m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m	H22 A 175,200 72,248 H23 A 139,500 203,874 H24 146,200 H25 H26 計 460,900 276,122	道路建設課
				A	川越駅南大塚線、本川越駅前通線の整備に向けた準備を行った。	H22 歩道整備 17m	H22 A 12,200 11,086 H23 A — — H24 42,500 H25 H26 計 54,700 11,086	街路課
				A	歩道付き道路の整備を434.8m行った。 (内訳150.0m+284.8m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m	H22 A 7,896 6,284 H23 A 9,000 8,377 H24 13,000 H25 H26 計 29,896 14,661	道路環境整備課
				D	※該当する事業が無かった。	H22 福原小及び川越小の体育館耐震補強工事に伴うトイレのバリアフリー化	H22 A — — H23 D — — H24 — H25 H26 計 0 0	建築住宅課
5	本庁舎における、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	継続		本庁舎5階のトイレの出入口扉を、軽くて安全な引き戸に改修した。 本庁舎3階男子トイレの小便器を床置きに改修した。	おむつ替え用ベットを3箇所設置 ベビーチェアを各トイレに1箇所設置(男女共) 授乳室を2区画設置	H22 A 1,300 1,280 H23 A 2,584 2,552 H24 — H25 H26 計 3,884 3,832	管財課	
6	防犯灯の整備	継続	年間の新設灯火350灯	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 新設:168灯 修繕:464灯 LED防犯灯への改修:719灯	新設工事 H17:235灯 H18:216灯 H19:223灯 H20:214灯 H21:195灯 H22:162灯 H23:168灯	H22 A 46,657 43,581 H23 A 74,935 72,994 H24 52,897 H25 H26 計 174,489 116,575	安全安心生活課	
7	赤ちゃんの駅	新規	50箇所	市内の公共施設40カ所を「赤ちゃんの駅」として指定して、授乳及びおむつ替等のスペースを提供した。 また、埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計122箇所の施設を登録。 登録施設には標識フラッグ等を掲示し、HPやモバイルサイトのほか、子育て情報誌、川越観光パンフレット、川越まつりパンフレット、小江戸川越マップ(HP上)に掲載した。	H22 市公共施設40カ所 川越市内105箇所 H23 市公共施設40カ所 川越市内122箇所	H22 A 2,615 2,333 H23 A — — H24 — H25 H26 計 2,615 2,333	子育て支援課	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(4) 子ども等の交通安全を確保するための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	交通安全教育	拡充	180回 21,000人	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施した。 181回 18,687人	22年度安全教育177回 参加者 17,515人 23年度安全教育181回 参加者 18,687人	H22 A 2,040 1,988 H23 A 2,040 1,892 H24 2,040 H25 H26 計 6,120 3,880	安全安心生活課			
2	児童の登校時の交通安全確保	継続		A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 朝の立哨回数 9241回	22年度朝の立哨回数 8,860回 23年度朝の立哨回数 9,241回	H22 A 12,480 10,632 H23 A 12,240 11,089 H24 11,760 H25 H26 計 36,480 21,721	安全安心生活課			
3	交通安全推進団体への補助	継続		A	交通安全推進協議会に¥1,290,000・交通安全母の会に¥900,000・川越交通安全協会に¥450,000・交通指導員会に¥45,000を補助した。	交通安全推進協議会129万円・交通安全母の会90万円・川越交通安全協会45万円・交通指導員会4.5万円	H22 A 2,685 2,685 H23 A 2,685 2,685 H24 2,685 H25 H26 計 8,055 5,370	安全安心生活課			
4	交通安全運動	継続	年4回 約1,500人参加	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 12回 1,050人	平成22年度の交通運動12回 参加者数 1,050人 平成23年度の交通運動12回 参加者数 1,050人	H22 A 1,161 413 H23 A 431 397 H24 660 H25 H26 計 2,252 810	安全安心生活課			
5	放置自転車対策	継続	4,000台 撤去	A	子供、障害者、高齢者等の通行の妨げである駅付近の公道上の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。 【市内11駅、撤去回数340回、撤去台数3,632台】	H22 市内11駅、撤去回数281回、撤去台数3,632台 H23 市内11駅、撤去回数340回、撤去台数3,632台	H22 A 34,887 32,706 H23 A 39,406 33,267 H24 37,566 H25 H26 計 111,859 65,973	安全安心生活課			
6	シートベルト、チャイルドシートの着用促進	継続		A	夏の交通安全キャンペーンの際に積極的に着用促進の啓発を行った。		H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	安全安心生活課			

7	安全・安心な通学路の確保	新規	A	路面標示等による通学路の事故防止対策を実施した。 48箇所	H22路面標示48箇所・ヒヤリハットマップ55校 H23路面標示48箇所・H23道路照明灯5基	H22 A 10,000 8,625 H23 A 10,000 8,860 H24 10,000 H25 H26 計 30,000 17,485	安全安心生活課	
				歩道付き道路の整備を434.8m行った。 (内訳150.0m+284.8m)	歩道整備 L=78.6m 歩道整備 L=434.8m	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0		道路環境整備課
				児童・生徒の通学路については、学校や地域の実情に応じ、交通事故及び不審者等からの児童生徒の安全確保のために、日常点検及び定期点検を実施した。通学路の点検結果をもとに、登下校時の安全に係る相談や通学路の整備に係る要望がある場合には、他課と連携して、通学路の整備を通して児童・生徒安全の確保に努めた。	通学路点検全校実施	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0		教育指導課
8	児童等の自転車乗車時のヘルメットの着用	新規	A	小学校で行う交通安全教室で啓発した。	平成22年度 79回 延11,504人 平成23年度 38回 延7,027人	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	安全安心生活課	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(5) 子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	継続		A	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚、安全な地域コミュニティの推進強化に努めた。 ・市内の犯罪認知件数:5,081件	市内の犯罪認知件数 H17:7,836件 H18:7,226件 H19:6,654件 H20:6,152件 H21:5,807件 H22:5,165件 H23:5,081件	H22 A 10,150 10,126 H23 A 9,935 9,892 H24 9,643 H25 H26 計 29,728 20,018	安全安心生活課			
2	防犯推進体制の整備	継続	自主防犯活動を行っている団体数(自治会・PTA) 300団体	A	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組んだ。地域においては自治会を中心とした活動や地域防犯推進員等の活動の充実が図れるよう支援するとともに、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、地域の推進体制整備に努めた。地域主体による自主性や地域の人員体制状況等からほぼ毎年度同数の団体数となっているのが現状である。 ・自主防犯活動を行っている団体数 約250団体	自主防犯活動を行っている団体数 H21:250団体 H22:250団体 H23:250団体	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0		安全安心生活課		

3	防犯意識の高揚 (犯罪情報・防犯情報の収集と提供)	継続	メール配信サービスの登録件数 10,000件	A	随時、犯罪情報等を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に努めた。 ・防犯対策情報・犯罪情報・不審者情報をEメールで配信 登録数:8,941件	登録状況 H18:5,041件 H19:7,988件 H20:9,187件 H21:9,166件 H22:9,224件 H23:8,941件	H22 A 2,073 2,073 H23 A 2,205 2,205 H24 2,205 H25 H26 計 6,483 4,278	安全安心生活課
4	安全な地域コミュニティの推進	継続	年間の提供団体数 20自治会等	A	地域における自主防犯活動をはじめとした各種活動への参画を促進し、支援することにより、安全な地域コミュニティの推進に努めた。 ・防犯パトロール用資機材等の提供(H23年度に指定) 27自治会(強化地域) ・夜間パトロールグッズ配布 10自治会(本庁管内)	防犯パトロール用資機材等の提供 H16:10自治会等(重点地域) H17:51自治会(強化地域) H18:2自治会(強化地域) H19:24自治会(強化地域) H21:5自治会(強化地域) H22:14自治会(強化地域) H23:27自治会(強化地域)	H22 A 724 724 H23 A 812 785 H24 623 H25 H26 計 2,159 1,509	安全安心生活課
5	防犯実技研修会	継続	教員54名 スクールガード68名	A	スクールガード・リーダー養成講習会を11月に実施し、不審者対応の実技講習会を行った。	H23 具体的な護身術の講習を行うことで、防犯意識の啓発と実技の習得を図った。小学校全校にスクールガード・リーダーを配置した。	H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	教育指導課
6	児童虐待防止の啓発活動	継続	1回/年	A	11月14日(月)に、青少年健全育成や薬物乱用防止などの啓発活動を行っている杉山裕太氏による児童虐待防止推進講演ライブを実施し、1月28日(土)に、夜回り先生水谷修氏による「子どもを非行や犯罪から守るために今大人にできること」と題した講演会を実施した。 11月の「児童虐待防止推進月間」にポスター、パネル等の掲示をし啓発を促した。	H22 1回 参加者122名 H23 11月14日 参加者243名 1月28日 参加者425名	H22 A 138 132 H23 A 592 566 H24 167 H25 H26 計 897 698	子育て支援課
7	「子ども110番の家」 (5-(3)-13の再掲)	継続		A	青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番の家を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付した。 ・子ども110番の家実施地区会議数 16地区会議 (うち、11地区会議から請求があり交付した。)		H22 A — — H23 A — — H24 — H25 H26 計 0 0	青少年課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(6) 被害に遭った子どもの支援の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成23年度末 進捗状況	平成23年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績			所管課
							年度	進捗状況	予算額	
1	犯罪被害者支援推進協議会への補助	継続		A	被害者への支援として、市・警察・関係機関(協議会会員)への適切な引継ぎや被害者支援推進のための広報啓発に努めた。	川越市犯罪被害者支援推進協議会への助成 H17~H21年度1,440千円 H22年度~各年度243千円	H22 A	243	243	安全安心生活課
						H23 A	243	243		
						H24	243			
						H25				
						H26				
						計	729	486		
2	家庭児童相談(6-(1)-2の再掲)	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,150件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件	H22 A	—	—	子育て支援課
						H23 A	—	—		
						H24	—			
						H25				
						H26				
						計	0	0		
3	要保護児童対策地域協議会(6-(1)-3の再掲)	拡充		A	要保護児童の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回	H22 代表者会議1回 実務者会議9回 H23 代表者会議2回 実務者会議9回 個別ケース会議17回	H22 A	—	—	子育て支援課
						H23 A	—	—		
						H24	—			
						H25				
						H26				
						計	0	0		